

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

チン小帯脆弱・断裂白内障症例において、CTR 使用、未使用による術後眼内レンズ偏心・傾斜の比較
1．研究の対象および研究対象期間 2016年1月以降から2023年10月末までの間で昭和大学藤が丘リハビリテーション病院でチン小帯脆弱・断裂白内障手術（水晶体再建術）をおこなった患者さん
2．研究目的・方法 チン小帯脆弱・断裂白内障の患者さんにおいて、白内障手術の安全性を高める目的でCTR（水晶体囊拡張リング）やCE（カプセルエキパンダー）といった手術補助器具を使用する場合があります。CEを単独で使用した患者さんとCEとCTRを併用した患者さんで術後眼内レンズの安定性などに差が生じるかを診療録情報を利用して調査します。
3．研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年2月28日まで
4．研究に用いる試料・情報の種類 患者さんの背景（年齢、性別、既往歴、手術日、手術内容、チン小帯脆弱の程度、白内障の進行程度） 術後1週間、1か月、3か月、6か月、1年、以降1年ごとに視力、眼圧、前眼部光干渉断層計の測定値
5．外部への試料・情報の提供 該当しません
6．研究組織 研究責任者：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 眼科 堀江 遥夏

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 眼科 氏名：堀江 遥夏

住所： 〒227-8518 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2丁目1番1号

電話番号： 045-974-2221（大代表）